バイオビジネス経営学特論演習 I (2単位)

担当者氏名 門間敏幸・渋谷往男・鈴木源太郎

◆学習・教育目標

バイオビジネス経営学の基礎理論を実証方法、調査方法を自ら考え出す力を養成する。バイオビジネス経営学特論演習 I では、バイオビジネス経営学特論 I で修得した理論の実証・調査方法を教員・学生同士の討議を通じて自ら修得する。ここで修得を目指すのは、①バイオビジネス経営学の基本課題、②経営哲学・経営理念・経営目的、③ナレッジマネジメントと知識創造経営、④経営者能力と意思決定、⑤経営の戦略・計画、⑥リスクマネジメント、に関する理論の実証・調査方法である。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

<u>バイオビジネス</u>	<u>経営倫理</u>	<u>知識創造経営</u>	<u>ナレッジマネジメント</u>
<u>経営意思決定</u>	<u>経営者能力</u>	<u>経営戦略</u>	<u>リスクマネジメント</u>

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	バイオビジネス経営学の基本課題の探索方法 (第1～2週)	・バイオビジネス経営学の基本課題の探索方法について修得する。	本授業のねらいは、バイオビジネス経営学理論の実証方法、調査方法について、大学院生自らが発見して修得出来るように、教員と学生、学生相互の論議を重視する。特に準備すべき事項はないが、常に自らの考え方を整理して発表できるようにすることが大切である。
2	経営倫理研究の方法論 (第3～4週)	・バイオビジネス経営学における経営倫理問題の実証・調査方法について修得する。	
3	ナレッジマネジメントと知識創造経営理論の実証・調査方法 (第5～7週)	・バイオビジネスのナレッジマネジメント、知識創造経営理論の実証・調査方法について修得する。	
4	経営者能力と意思決定理論の実証・調査方法 (第8～10週)	・経営者能力の評価方法、バイオビジネスにおける意思決定メカニズム理論の実証・調査方法について修得する。	
5	戦略・計画理論の実証・調査方法 (第11～13週)	・バイオビジネスにおける経営戦略・計画理論の実証・調査方法について修得する。	
6	リスクマネジメントの実証・調査方法 (第14～15週)	・バイオビジネスにおけるリスクマネジメント理論の実証・調査方法について修得する。	

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

バイオビジネス経営学総論への招待（バイオビジネス4収載）/門間敏幸/家の光協会（2005）

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

ドラッカー/マネジメント上・下/ダイヤモンド社(1997)

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

授業への積極的な参加度とレポートで評価する。

◆その他受講上の注意事項

教員から教わるのではなくて、自ら理論を創造するという態度で授業に参加して欲しい。